

業を活性化し、成功を探求する経営誌

# 理念と経営

9

2021  
September

巻頭対談

自ら未来を掴む——可能思考で事上磨錬

永続する企業とは、変幻自在になれる企業である

早稲田大学ビジネススクール教授

ロート製薬代表取締役会長兼CEO

入山章栄 山田邦雄



特集1

進化する  
ファミリービジネス

ASE]  
東屋/辰馬本家酒造/文明堂東京

INTERVIEW]  
子によるハイブリッド経営のススメ

早稲田大学ビジネススクール教授 浅羽 英

特集2

後継者の葛藤と挑戦

柳井工業/葡萄のかねおく

新連載

あの時、あの言葉

トヨタ自動車創業者 豊田喜一郎

## 読者の声

### 厳しい状況下でも 希望の光を目指して

七月号の巻頭対談「苦しいときは三年だ。三年経てば光が見えてくる」がとても印象的でした。

私は運送業を営んでいます。取引先様の半分はイベントレンタルの影響であらゆるイベントが中止されたことで配送のキャンセルが相次ぎ、業績は厳しい状況となりました。視野が狭くなった私は、「トラックを売却するか」「今期はどう乗り切るか」と守りの姿勢になってしまったことがありました。そのような時、この対談を読み、先輩経営者からも「厳しい時でも攻める姿勢が必要だよ」と励ましのお言葉をいただきました。現在はコロナ禍で浮き彫りになった課題の一つである社員教育に注力し、原点に立ち返った取り組みを行っています。

今も厳しい状況は続いておりませんが、攻める姿勢で希望の光を目指していきたいと思えます。

(東京都・齋藤敦士)

### 野村克也さんの 探求心が凄い

毎月、本誌を読み、社内の「共に学ぶ会」に参加して学びを深めています。日々の生活の中でも学ぶこと、それを成長に活かすこと、目標を意識して行動することが大切だと感じています。

昨年サブリーダーの立場になり、ほかの方のフォロワーができて、見本となる行動のできる人材を目指しています。

最近印象に残っているのは野村克也さんの記事です。指導や野球に対する探求心が凄いと感じました。志が高く、仕事を通して何をしたいのか、どうしたらもっと良くなるかを、しっかり考えて行動していた方なのだと思います。自発的に考え、目的やそれが何の成果に繋がるのか、常に考えることを大切にして、仕事に取り組んでいきます。

(神奈川県・佐藤織斗)

※五十音順

## AD MENU

サントリー酒類株式会社 表4  
小正醸造株式会社 表2  
株式会社ジーニアスウェブ 表3

### ○個人情報の取り扱いについて

小誌にお送りいただいた個人情報は厳重に管理し、とくに明記のない限り、商品のお届け、弊社の各種ご案内以外の目的で使用いたしません。目的遂行のため外部委託する場合がありますが、その場合も同様です。なお、個人が特定できない統計データとして参考させていただく場合があります。

誌面の感想、ご要望、ご意見など、読者の皆様のお声をお寄せください。QRコードまたは下記のURLから専用サイトにアクセスできます。Eメールでのご意見も受け付けています。

<https://www.rinen-mg.co.jp/contact>  
E-mail [info2@rinen-mg.co.jp](mailto:info2@rinen-mg.co.jp)



お声をお寄せくださった方に、石川洋先生の「ごろの杖オリジナルスタンプ」をもらえなく差し上げます。

## 理念と経営

定価 1100 円 (本体 1000 円 + 税 10%)  
令和3年9月号 令和3年8月21日発行

<http://www.rinen-mg.co.jp/>

法律で認められた場合を除き、本誌の全部または一部(記事、写真、イラストなど)を無断で複製、転載、改ざん、公衆送信すること、および有償無償にかかわらず、本データを第三者に譲渡することを禁じます。また、個人的な使用を目的とする複製であっても、コピーガードなどの著作権保護技術を解除して行うことはできません。

バックナンバーは下記のURLでご覧いただけます。

<http://www.rinen-mg.co.jp/backnumber/>

最新号の情報をSNSで発信しています!



理念と経営

Search

## 編集室より

▼ リフレクション(内省)をオーソドックスに日本語に訳すと「反射」です。鏡に自分を映し出してみると、意外な姿が見えてくるかもしれません。仕事に忙殺されるだけで、自分の時間をあまり持てない人にこそ、お勧めです。(J)

▼ 巻頭の山田会長と入山先生の対談では、チャレンジすることの重要性を改めて認識しました。山田会長の「失敗したものは成功したものの二倍多い」という言葉が心に刺さっています。私も失敗を恐れず、チャレンジしていこうと思います。(K)

▼ 企業事例研究1・ハナマルキの花岡社長は経営をする上で常に危機感があったと話されています。何か新しいことをしなければという必死の思いが100年の歴史を持つ老舗企業に「液体塩こうじ」という芽を吹かせたのだと実感しました。(N)

▼ 特集「進化するファミリービジネス」の取材をしていると、ある共通項が浮かんできました。「迷った時には、企業理念に立ち返る」という鉄則です。リセットする場所、原理原則があることの強さ。老舗の知恵に学びました。(S)